

見つめよう わたしたちの地球

～ JICA と共に行う国際理解教育～

岡山市立石井小学校

原田 緑

JICA 岡山県国際協力推進員

武藤理恵

1 JICA 中国 国際理解教育支援事業

①お勧め その1：国際協力出前講座 (JICA ボランティア経験者による講座)

【内容】

- ・海外ボランティア経験談
～ボランティア体験談を聞いて、自分の生き方を考える。
- ・開発途上国の現状
～開発途上国の暮らしから自分たちの生活を見つめる。など

申し込みから講師派遣まで

【各学校で担当の先生にいただくこと】

- ・講師派遣依頼書のフォーマットに記入し FAX にて依頼。～ニーズをお伝えください。(よくある質問：講師謝礼については、原則として講師への謝 7000 円/1 件と交通費を依頼元でご負担いただいています。ただし経費負担が困難な場合推進員までご相談ください。)
- ・(手続きが完了しましたら) 講師決定通知が届きます。それ以降は直接講師と講座の内容について打ち合わせてください。



②お勧め その2：研修員の学校訪問

技術研修のために来日している研修員が、グループ単位で学校を訪問し児童・生徒と交流するプログラム

訪問できる場所：JICA 中国（東広島市）から片道 2 時間程度にある小中高校・盲・聾・養護学校。

ポイント 1：訪問日程は限られるので、希望日を提出していただきます。

(JICA 中国の HP 参照)

ポイント 2：応募締め切りは 4 月末ごろ

ポイント 3：経費は一切発生しません。

* 必要な場合、給食など交流中に必要なものは原則学校負担でお願いしています。

③お勧め その3：教師海外研修

対象：中国 5 県の小中高盲聾養護学校に勤務する教員（臨時採用・講師でも可）
年齢 50 歳以下。所属する学校長または教頭の推薦が得られること。過去に JICA ボランティア・専門家 ODA モニター等、ODA 事業として海外に派遣された方は除く。

【参加条件】 以下の日程に参加できること

- ・派遣前研修（出発前の 5 月土日 1 回・6 月土日 1 回）
- ・海外研修中の全日程 15 日間

- ・帰国後研修（帰国後の9月土日1回・1月土1回）
- ・報告書提出～JICA，HPに掲載・一般公開するのでご了承ください。

【海外研修の内容】

- ・ODA / JICA 事業の視察
- ・JICA ボランティアの活動現場視察及び交流
- ・NGO 活動現場の視察
- ・現地の学校訪問 等

ポイント1：海外研修を通して，開発教育を日々，実践していただくことが目的です。

ポイント2：応募用紙に必要事項をご記入の上，締切の5月初旬までにお送りください。

ポイント3：経費負担は，原則以下のみ。

国内研修＊食費，パスポート取得費用，予防接種料（必要に応じて）
海外研修＊食費，現地での宿泊費，追加保険料金

④お勧め その4：国際理解教育研修会

国際理解教育に関心のある教員（講師・臨時職員を含む）を対象にした研修会。

【内容】

第一回 体験してみよう！参加型学習

第二回 作ってみよう！授業プラン

第三回 聞いてみよう！学校現場での取り組み。

ポイント1：全3回。各回ごとの申込み可。19年度は 5/26，9/29～30，1/26

ポイント2：応募締め切りは各回ごとに異なる。19年度は，5/11，9/7，1/11

ポイント3：参加費は無料。交通費，研修費等全て無料。ただし，第二回のみ宿泊代（6441円）自己負担

⑤お勧め その5：岡山県 JICA デスクの使い方

- ・教材貸し出し・開発教育ご提案

参加型学習ご紹介・楽器，民族衣装貸し出し

岡山県 JICA デスクは，岡山駅西口よりすぐ，国際交流センター内にあります。

まずはTEL 086-256-2917 または jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp までご連絡ください。

★お役立ち情報

- ・NHK 地球データマップ

<http://www.nhk.or.jp/datamap/top.html>

- ・DEAR 開発教育協会



佐藤先生の指導講評（藤井先生分）



目標が具体的でわかりやすい。

少ないALTを十分活用し、西小独自の工夫をしっかりとっている。

小中の9年間の流れの検討がすばらしい。年間計画の見直し、実践の積み重ねを整理し、残しているところがすばらしい。6年生の下学年への英語を通してのかかわりは見事である。